

令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、白根図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：白根図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	課題解決のためのレファレンスサービスの充実	レファレンス件数 H29実績：3,311件 (所蔵調査：2,948件 事項調査：363件) H30実績：4,269件 (所蔵調査：3,705件 事項調査：564件) R元 実績：4,471件 (所蔵調査：3,837件 事項調査：634件)	令和元年度は、所蔵調査・事項調査ともに件数が増加しました。窓口での利用者対応を丁寧に行い、気軽に相談してもらえるよう、今後も努めていきます。	3 大変評価する。83% 2 ある程度評価する。 1 評価できない。17%	・利用者の求める声を親切丁寧に聞き出してくれるのは利用者にとってとてもありがたい。 ・レファレンス件数が年々増加しているのは、図書館利用の方法が市民に浸透してきていることの現れだと思う。窓口対応がもたらしている効果でもある。 ・特にどんな調査・相談があったのか。 ・H29年度比実績でR元年度が約35%増になっているのがすばらしい。 ・職員の努力の成果だと思う。今後もサービスの充実を続けてほしい。
	◆館の重点評価項目	展示架等積極的展開	テーマ展示 (白根) R元 実績：48回 「浮世絵とお化け」「ブックスタート展」 「和の文化」「DIY」、追悼展示など (月潟) R元 実績：37回 「手作りの本」「詩・短歌・俳句の本」 「災害対策」「感染症対策」など ※白根・月潟ともに高齢者に関連したテーマ展示を実施。	月1回入替を行うテーマ展示や話題性を重視したミニ展示により、利用者への資料紹介、情報提供に努めました。 市の他部署や新潟県立歴史博物館などと連携した展示を白根図書館で行ったほか、高齢者サービスの一環として、全国的な取組である「RUN伴(ラントモ)」と連携した認知症関連の展示を白根・月潟図書館で行いました。	3 大変評価する。80% 2 ある程度評価する。20% 1 評価できない。	・ミニ展示はとても楽しい。 ・テーマ展示、ミニ展示によって興味を惹かれ関心を持つことは度々ある。来館者に働きかける効果は大きいと思われる。ぜひ継続してほしい。 ・資料展示や情報提供により広く市民にPRできていると思う。楽しみにしている利用者もいる。 ・図書館利用へのPR、ぜひ目に留まるようなわかりやすい展示をお願いしたい。 ・図書館に行くたびに、毎回、工夫されていると感じるのだが、実際に手にとって借りるまではいかない。私個人の趣味にあってないというだけかもしれないが。
特色ある地域づくり型図書館	◇全館共通評価項目	地域資料の体系的な収集と活用	南区の図書館として、凧・農業関連資料をはじめ、行政資料についても広く情報収集し、所蔵するように努めている。 郷土・行政資料の蔵書冊数 H30実績：8,052冊 R元 実績：8,307冊	白根では南区の中心図書館として、地域住民の課題解決を支援するため、地域資料の積極的な収集、保存に努めました。 「凧の本コーナー」は郷土資料コーナーの棚から図書館奥の展示スペースに移して拡大展示し、来館者への周知を図りました。 月潟では活用価値・保存価値の高いものを優先して収集に努めました。	3 大変評価する。67% 2 ある程度評価する。17% 1 評価できない。17%	・「凧の本コーナー」は正面の目立つ所にあつて、たくさんの図書が飾られていてとても良いと思った。 ・農業関連の資料は目立たない。大きなポップを出したらどうか。 ・地域資料の収集・保存は図書館の大切な役割でもあると思う。活用の度合いに関わらず継続されるよう望む。 ・郷土・行政資料は単純にニーズの有無で判断すべきものではないので、冊数実績が増えるのは努力していることと思う。 ・地域の歴史を学ぶための大切な資料。必要とする人へ必要な資料を案内できるように、これからも努力してほしい。
	◆館の重点評価項目	農業等産業関連図書の充実	R元年度には農業コーナーに新たに32冊を受け入れし、充実を図った。 南区の特産物であるル・レクチエの記事が掲載された雑誌を展示しPRした。	農業関係者の支援のため、積極的に農業や果樹等、関連図書の収集を行いました。また、図書以外にも農業関連の雑誌や新聞の収集に努めました。	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。33% 1 評価できない。17%	・都会から来て農業に転職する人が増えているので、YouTubeなどに掲載されていないような白根独特の農作業方法などの資料が喜ばれるのではないかと。 ・一般にはあまり興味を持たない人も多いのでは。 ・農業図書は利用状況もあわせて見られるとうい。 ・子どもから大人まで、農業を知る上での情報がすべて集まることを期待する。
子ども・社会・民書融合型推進型図書館	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	ブックスタートを月1回の1歳誕生歯科健診時に実施。 参加者数 H29実績：335名 H30実績：278名 R元 実績：240名 ※3月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	ブックスタート事業は、関係課やボランティアと協力し、スムーズに運営することができました。 白根では、児童コーナーにブックスタートコーナーを設置し、事業の周知に努めました。また、ブックスタートボランティアの不足に伴い養成講座を開催しました(新規登録2名)。 またうちどくに関連して、読書ノートやおすすすめする児童書のリストを配布しました。	3 大変評価する。67% 2 ある程度評価する。33% 1 評価できない。	・新型コロナウイルス感染症により来館を控えた方もあると思うので、ブックスタート時に絵本をもらわなかった人に改めて声をかけても良いのではないかと。 ・ブックスタート事業は継続実施を。 ・少子化が進むにつれ参加者が減るのは仕方がない。南区の子どもたちが全員、ここからスタートすることができるとうい。 ・参加者数は少子化で母数が減っていると推測されるが努力を続けてもらいたい。 ・ボランティアの養成講座を開き新規登録者を得たことは貴重な成果と思う。継続により今後も新規登録が期待できる。 ・うちどく(家読)も、忙しい親子もあるだろうが何か豊かな感じがする。 ・うちどくの効果をもっとPRできればよいと思う。 ・学校と連携しながら、うちどくの推進を更に図ってもらいたい。
	◆館の重点評価項目	児童福祉・学校図書館職員への支援による、子どもの読書環境整備を目指す。	学校図書館が様々な連携を行い、求められる役割や機能が発揮できるよう情報提供や支援を行う。 ○学校図書館支援センター業務 ・担当区内小中学校35校に計72回訪問 ・業務相談：303件、レファレンス：73件 ・学校への図書搬送(貸出)：88件、3,073冊 ・各種研修の実施： 新任学校司書研修(4支援センター合同)6回 学校司書実務研修1回 学校図書館ボランティア読み聞かせ講座1回	学校訪問では管理職や担当職員から聴き取りをし、学校図書館の現状把握に努め、また、運営や蔵書・施設の諸課題に対し改善のための助言や参考資料の提供を行いました。 このほか電話や来館時の対応を通して、速やかで適切な資料や情報の提供に留意し、円滑な図書館活用を支援しました。 併せてゆりかご学級や育児相談会などへの講師派遣や資料提供を通して各教育関係機関の事業に協力しました。	3 大変評価する。67% 2 ある程度評価する。17% 1 評価できない。17%	・図書館としてとても大切な業務だと思う。たくさんの図書に囲まれて児童がいまざっているように思う。 ・学校図書館への支援は、教育活動の質の向上につながる。学校は各方面からの支援を受けて運営されるが、市立図書館からの支援は特に重要なものと思われる。支援センターの体制が変わっても継続して支援が行われるよう願っている。 ・学校司書は支援を大変喜んでいる。定期的に訪問する、または電話で様子を伺ってあげるなど、ほんのちょっとしたアドバイスで学校図書館が良くなっている。 ・学校現場では、司書との連携を含めた支援はたいへんありがたい。引き続きの取組を要望する。
市民参画と協働推進型図書館	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	○白根図書館の応援団である「しろね図書館友の会」との協働による事業を実施。 ・読書会(毎月第3日曜日)参加人数：39人 ・雑誌リサイクル会(11月)参加人数：100人 ・ワークショップ「じぶんでつくりよう!ミニ絵本パندوقぞ」中止 ○読み聞かせボランティアグループとの「おはなし会」の実施：参加人数：707人	白根ではしろね図書館友の会と協力し、図書館事業の充実を図りました。 また、白根・月潟ともに友の会や読み聞かせボランティアグループと協力し、年間を通してのおはなし会や雑誌リサイクル会などを実施しました。 白根図書館で3月1日に開催予定だったワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止としました。	3 大変評価する。67% 2 ある程度評価する。17% 1 評価できない。17%	・読書会参加者が少ないので拡大を考えてはどうか。 ・ボランティアの協力を仰ぐのは、最初は手間もかかると思うが、長い目でみて、図書館側のメリットも多いと思う。 ・各事業とも多くの参加者があり、盛況だったことがわかる。これからも友の会と協働で市民を喜ばせる事業を開催してほしい。
	◆館の重点評価項目	白根図書館で活動するボランティア等との協働のもと図書館事業の企画・実施を行う。	・白根学習館20周年記念事業について、実行委員会(文化協会・しろね図書館友の会)とともに準備。 (「千野茂・長井亮之二人展」「小杉真二ピアノリサイタル」) ・白根図書館20周年事業について、しろね図書館友の会と協力し準備・計画。	白根学習館20周年事業及び白根図書館20周年事業について、しろね図書館友の会と協力し準備を行いました。	3 大変評価する。67% 2 ある程度評価する。33% 1 評価できない。	・良い企画だったと思う。(2名) ・しろね図書館友の会、実行委員会の方々の計画・準備、たいへん良い内容だった。ご苦労様でした。 ・ピアノリサイタルは初動が遅くチケットを入手できなかったのが残念だったが、人気があったのだろう。 ・コロナの影響で20周年事業も自粛された感じでとても残念だ。